

清水小学校だより 13

令和5年8月8日

文責：藤芳 秀樹

教育目標 「いいね」で認めあい、支えあい、伸ばしあう学校

夏休みもそろそろ折り返し地点に入ります。みなさん、いかがお過ごしでしょうか？

子どもたちにとって、夏休みには十分な時間があります。よい夏休みとするためには、ゆとりをもちつつも生活のリズム、健康的な生活は崩さないことが大切です。

基本である「**早寝・早起き・朝ごはん**」は夏休み中もしっかりお願いします。そして、時間のゆとりを使って、学期中にはできない家庭や地域での活動を充実させてみてはいかがでしょうか。今回は地域の活動を紹介します。



朝のラジオ体操・親子でウォーキング

7月23日、清水小で校区体育協会主催の「ラジオ体操」がありました。

参加者200人以上。私は久しぶりのラジオ体操第2に苦勞しつつも、新鮮な空気を吸いながら体を動かし、とてもいい気分になりました。

朝からちょっと体を動かすだけでも、すっきりした気持ちで一日のスタートがきれいだと思います。遊水地公園を親子でウォーキングをしている姿も見かけました。

清水小は近くに遊水地公園、龍田山自然公園や八景水谷公園などがある恵まれた場所です。いずれも校区外なので、子どもだけは行けませんが、保護者の健康づくりも兼ねて一緒に出かけてみてはいかがでしょうか？



ツバメのお宿はどこでしょう？

8月6日、遊水地公園で校区青少協主催の「ツバメのねぐら入り観察会」がありました。

ツバメの巣は「ヒナを育てる場」であって普段は茂みで寝泊まりしていることを、私は初めて知りました。そして、そのお宿が遊水地公園のすぐ近くと知ってまたビックリ。昼間、別々の場所で過ごしていたツバメたちが、夕方、ねぐらに集まってきます。当日の数は少なかったのですが、多い時は何千羽になるそうです。

参加した子どもたちは、夕暮れのゆっくりとした時間を過ごせたことでしょう。



子どもみこしの参加者 まだまだ大募集

上の写真は、先日のはっぴ合わせの様子です。

はっぴ、短パン、帯、ねじりはちまき、鈴・実際に身につけた子どもたちはとっても嬉しそうでした。

子どもみこし会の方々が入念に準備されていたので、はっぴはクリーニングや保管がいきとどいており、私も袖を通すとワクワクしてきました。みこしも立派なもので、清水地区の伝統を感じました。

担ぎ手となる子どもたちをまだまだ募集しているそうです。参加費無料（はっぴ等は貸し出し）ですし、4年生以上は子どもだけでも参加できるそうです。

先日PTAから募集がありましたが、今からでも応募できるそうです。詳しくは清水小HP「様々なお知らせ」にチラシがありますので、ご覧ください。

<http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/sch/e/shimizues/samazama>

このURLから
お入りください

台風への備えを

台風が近づいています。大雨や河川の増水、強風などに対してどのように対処するかをお子さんに話されてください。



また、地震などの災害が発生した際にどのように連絡をとるか・どこに避難するべきかについて、普段から親子で共通理解を図っておかれてください。

個人情報保護のため、写真は鮮明度を落として掲載しています